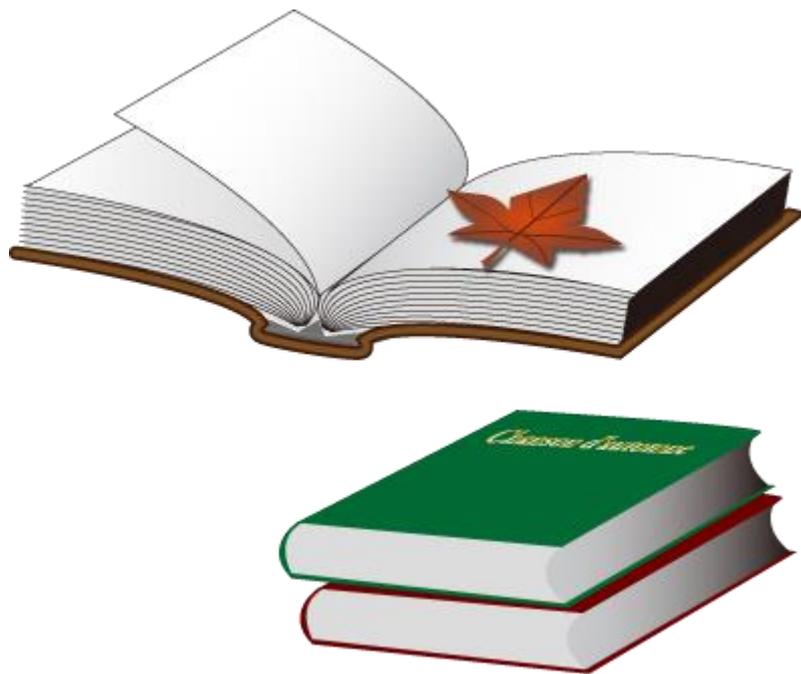


南富良野町読書活動推進計画

(第2期計画)

期間：平成28年度～平成32年度



南富良野町教育委員会

●はじめに

平成13年12月、「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、北海道教育委員会では、平成15年11月に「北海道子どもの読書活動推進計画」が策定されており、北海道では、平成25年3月に「生きる力をはぐくむ北の読書プラン」（第3次計画）を策定し、子どもの読書活動推進の取り組みがなされてきています。

南富良野町では、これらの法律に基づいて、子どもたちだけではなく成人も含めた全町民を対象にした「南富良野町読書活動推進計画」（平成23年度～平成27年度・5ヶ年計画）を策定し、子どもの読書活動を中心に各種読書活動の推進に取り組みました。

◎計画期間における南富良野町公民館図書室の利用状況

	町人口（人）	蔵書冊数（冊）	利用者数（人）	貸出冊数（人）
平成23年度	2,850	14,946	1,112	1,924
平成24年度	2,832	12,842	1,135	2,161
平成25年度	2,779	13,109	1,167	2,476
平成26年度	2,694	11,842	1,191	1,889
平成27年度	2,631	12,180	1,198	2,261

南富良野町では、より多くの町民の方に利用していただくために、平成24年度より年次的に図書室書架の入替や児童書コーナーの配置替等を行いながら環境整備の推進を実施してきました。

読書は、他者とのよりよいコミュニケーションを築く上で欠くことのできないものであり、特に幼少期の読書は、親子の絆を深め考える力を培い、豊かな感性や情操を醸成し、幅広い知識の獲得や言語的成長を促すうえで極めて有効な手段と言えます。

時代を担う子どもたちが、それぞれの発達段階に応じた読書体験ができるよう、幼児期からの読書習慣の定着や、生涯にわたりいつでも気軽に読書が楽しめる環境を整備することが望まれています。

これを踏まえ、南富良野町では、読書好きな子どもが増え、読書活動が盛んな町をめざして「第2期南富良野町読書推進計画」を策定しました。

第1章 南富良野町読書活動推進計画の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨

南富良野町では、国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」や、北海道が策定した「北海道子どもの読書活動推進計画」を基に、本町の実情を踏まえながら、読書活動に関する施策を推進するために、子どもたちだけではなく成人も含めた全町民を対象にした「南富良野町読書活動推進計画」（第1期計画）を平成23年3月に策定しました。

平成13年12月に施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」第2条の中で、子どもの読書活動は「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」とされており、社会全体でその推進を図る必要があります。

このようなことから、南富良野町においても、子どもたちを中心とした読書活動の推進に取り組んでいくため、第1期計画の成果と課題を踏まえ、第2期計画を策定しました。

2 計画策定の基本方針

本計画は、次の考えを基本に策定します。

- (1) 「子どもの読書活動の推進に関する法律」を策定の基本とする。
- (2) 国及び北海道で策定した基本計画を参考にする。
- (3) 既存の事業についての見直しを行いながら継続・推進を図る。

3 計画の目標

子どもの読書活動を中心に推進し、読書活動が盛んな町づくりを進めるための環境整備に努めます。

公民館図書室は、住民が学び、考え、創造し、より豊かな生活の実現を目指す生涯学習の情報拠点です。子どもたちにとっても、多くの本と出会える場であり、読書の楽しさを知ることのできる場でもあることから、読みたい本や年齢に応じた本と出会える機会づくりと、利用者と本とをつなぐ人材の発掘や育成に努めるとともに、読書推進事業の充実を図ります。

4 計画期間

平成28年度から平成32年度までの5年間とし、必要に応じて計画の見直しを行います。

5 第1期計画における成果と課題

【公民館図書室・家庭・地域・学校等における読書活動の推進】

①公民館図書室における読書活動の推進

《成果》

・読書推進イベントの実施として、「こどもえほんまつり」を地元の子育て支援ボランティアサークルと連携して開催し、子どもたちが色々な本に触れあうとともに、保護者の子どもの読書に対する関心を高める機会を継続的に実施してきました。

・町の広報を活用し公民館図書室の新刊情報提供等を行いながら、読書活動の推進を図りました。

《課題》

・継続した読書推進イベントの実施体制を確立するために、ボランティア団体の育成・支援や、関係機関との連携・協力の推進と読みたい本や年齢に応じた本と出会える機会づくりの提供が必要であります。

②家庭・地域における読書活動の推進

《成果》

・平成16年度から開始しているブックスタート事業において0歳児と就学前児童（平成20年度から開始）に対する絵本を配布し、親子の絆と本に親しむ環境づくりの推進を図りました。

◎ブックスタート事業配布実績冊数

H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
137冊	114冊	118冊	118冊	135冊

《課題》

・子育て支援センター・ボランティアサークル等との連携による読み聞かせ活動の実施や、誰もが気軽に本に触れあうことができる地域公民館を活用した巡回図書の実施が必要であります。

③学校等における子どもの読書活動の推進

《成果》

・学校からの購入要望に応じて随時図書を購入し、学校図書室への配置を行うことで読書活動の推進を図りました。

《課題》

・本町の図書室及び各小・中学校に司書が配置されていないため、連携が不十分であることから、読書活動の推進にあたり担当教諭との連携や意見交換が必要であります。

【読書活動を推進するための読書環境の整備】

①公民館図書室の整備・充実

《成果》

- ・平成23年度から年次計画により書架の入替えや新刊図書の展示、児童書コーナーの配置替え等を行った他、住民リクエストに応じた新刊図書の購入推進や図書ボランティアの方々に協力を得て環境改善に努め、町民の方が利用しやすい図書室づくりの推進を図りました。
- ・富良野圏域5市町村の連携事業として移動ライブラリー（DVD・ビデオ貸出）事業の推進を図っています。

《課題》

- ・図書室の蔵書は、今後増加が見込まれることから、適切な蔵書管理（除籍等）が必要であります。
- また、継続した利用しやすい図書室づくりの推進が必要であります。

②学校図書室の整備・充実

《成果》

- ・各小・中学校においては、耐震化による学校の改築（建替）等が実施されたことに伴い、学校内図書室の整備や読書スペースの確保がされている。

《課題》

- ・各小・中学校に学校司書が配置されていないため、連携が不十分であることから、読書活動の推進にあたり担当教諭との連携や意見交換が必要であります。

③読書活動推進体制の整備

《成果》

- ・ブックスタート事業及び子育て支援ボランティアサークルとの連携による「こどもえほんまつり」の実施により、読書活動を推進したことで、乳幼児とその保護者への読書活動の理解を深めることができました。

《課題》

- ・子育て支援サークル等との連携だけではなく、学校・家庭・地域や他の関係機関との連携による更なる読書活動の推進が必要である。
- ・また、図書ボランティアの充実を図るため、人材を育成し、図書ボランティアの登録会員数を増加させる必要があります。

【第1期計画の総括】

第1期計画における成果と課題を踏まえて、南富良野町読書活動推進計画（第2期計画）では、子どもたちが読書を楽しむことができ、住民の方が利用しやすい図書室の整備に努めることを中心に定めることとします。

第2章 南富良野町読書活動推進施策

1 公民館図書室・家庭・地域・学校等における読書活動の推進

(1) 公民館図書室における読書活動の推進

《推進の方向性》

図書室は、住民の方が学び、より豊かな生活の実現を目指す生涯学習の拠点であり、子どもたちにとっても多くの本と出会える場であり、読書の楽しさを知ることができる場でもあります。

このことから、子どもたちや成人の方が読書に興味・関心が持てるような読書推進事業の展開を図ります。

《推進に向けた取り組み》

- ・ イベントを通じた本に親しむ機会や情報の提供（こどもえほんまつり）
- ・ リクエストに対応した新刊図書及び児童書（絵本）の購入推進
- ・ 広報を活用した新刊図書の情報発信及び読書活動の啓発

(2) 家庭・地域における読書活動の推進

《推進の方向性》

乳幼児期に行う読み聞かせは、子どもが本の楽しさを知る大切なきっかけづくりです。また、本の楽しさを知った子どもたちが、次に本と出会う喜びを知るためには読書の習慣化が必要です。子どもや大人が読書を楽しめる家庭や地域での環境づくりと読書活動を推進します。

《推進に向けた取り組み》

- ・ ブックスタート事業（絵本の配布）における家庭読書活動の推進
- ・ 保育所、子育て支援センターにおける本に親しむ機会や情報の提供
- ・ 育児講演会等を活用した読み聞かせの実施
- ・ 地域公民館等を活用した巡回図書の実施に向けた検討

(3) 学校等における子どもの読書活動の推進

《推進の方向性》

子どもの発達段階に応じた読書指導は、読書に親しむ態度を養成し、読書習慣を身に付けるうえで最も重要です。特に幼少期や小学生期における良質な本との出会いは、読書に対する興味・関心を広げ、中学生・高校生期における読書は、自我の確立に大きな影響を与えるものであり、それぞれの発達段階に応じた読書活動を展開します。

《推進に向けた取り組み》

- ・読書習慣を身に付けるための取り組みの推進
- ・自主的、主体的な学びを支援し、豊かな感性を育む図書や資料の充実による蔵書率の向上推進
- ・公民館図書室から各学校への図書の貸出
- ・ボランティアを活用した読書活動の推進

2 読書活動を推進するための環境及び活動推進体制の整備

《推進の方向性》

読書活動を一層充実させるためには、図書や読書活動に関する多くの情報を発信し、地域住民が読書活動にかかわるようになることが求められています。そのために、だれもが足を運ぶことができる図書室が、子どもはもとより、地域住民や保護者、保育士等に子どもの利用状況や子どもに人気のある本についてなど、多くの情報を提供するとともに、住民のニーズに合った蔵書構成、利用しやすい配架、居心地の良いレイアウト等の環境整備の推進と、ボランティア団体の育成・支援・連携による読書活動の普及啓発を推進します。

《推進に向けた取り組み》

- ・道立図書館と連携した図書の充実
- ・住民リクエストやボランティア団体を活用した蔵書の充実
- ・他市町村図書館等との連携の推進（移動ライブラリーの充実）
- ・図書ボランティアの登録推進
- ・図書室の環境整備
- ・ボランティア団体等の育成・支援・連携の推進

第2期 南富良野町読書活動推進計画

平成28年3月策定

発行：南富良野町教育委員会

編集：南富良野町公民館図書室